

治療方針

- がん治療の補足的なケアとして行う
- 腫脹による皮膚の張りや圧迫感を緩和させる
- QOLの向上
- 心理的、精神的な効果（ご家族に対しても）
- 慎重に対応する

確認事項

- 原疾患の進行の程度、合併症の有無
- 痛み、皮ふの異常感覚
- 炎症に伴う発熱
- 患者さんご家族の希望

リンパ浮腫治療の基本

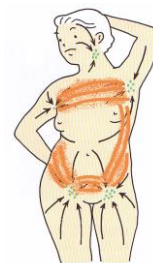
複合的理学療法

- スキンケア
 - 用手的リンパドレナージ
 - 圧迫療法
 - 圧迫下での運動療法
- 日常生活での指導、継続的なサポート

緩和ケアにおける考え方

複合的治療を基本としますが
一般的なリンパ浮腫の治療とは
異なります

患者さんの病状を把握し
治療内容を選択できる判断が
求められます



日常生活での指導

- 皮ふを傷つけない
- 身体に負担をかけないような衣服
- 無理のない楽な肢位をとる



スキンケア

- 保湿と保護
- リンパ漏、リンパ小疱
- 皮膚潰瘍、白癬症

「緩和ケアにおける用手的リンパドレナージと 圧迫療法について」

用手的リンパドレナージ

- 刺激量の少ない柔らかい手技
- 極力皮ふを動かさないようにする
- 患者さんの体調のよい時間帯を選ぶ

圧迫療法

- 軽めの圧迫と数時間ごとの確認
- 物理的・刺激に対する反応
- 痛みやしびれ
- 胸水や腹水の状況
- 弾性着衣の無理な装着は避ける

弾性包帯



<http://www.lohmann-rauscher.com/>

緩和ケアにおいては
綿のみでできた
柔らかい包帯を使う

弾性チューブ包帯



<http://www.lohmann-rauscher.com/>

運動療法

筋ポンプによる静脈やリンパ管の還流を
改善させる



リンパ浮腫療法士認定機構

<http://www.jclt.jp/>

日本医療リンパドレナージ協会

<http://www.mlaj.jp/index.html>